



2025(令和7)年8月1日発行 第136号

伊深まちづくり協議会
ホームページ

<https://ibuka-machizukuri.com/>

【公式】Instagram
ibuka_machizukuri

ギャラリー伊深【公式】Instagram
gallery_ibuka



IBUKA_MACHIZUKURI

報告 『昔の写真』持ち寄り談話会 & 『昔の食体験』を開催しました



7月12日に伊深交流センターで、昔の写真や資料を持ち寄った談話会を行いました。また、同時にごはん研究会により、くさぎごはんの昼食がふるまわれ、食を楽しみながらの会となりました。伊深小学校の校庭にあった大桜の写真や旧関也街道の地図などが集まり、話が大きいに盛り上がりました。



伊深小学校校庭の大桜

貴重な写真や資料が廃棄される前になんとか記録に残し、後世に伝えたいものです。

昔の写真や資料をお持ちの方は、9月末まで募集していますので、ご協力お願いします。



『昔の食体験』

報告

伊深ごはん研究会がイベントの参加者に昼食を提供！



『昔の写真』持ち寄り談話会が行われた同日に、IBUCAL ではおそばを盛り付ける曲げ輪っばを作成する講座が開催されました。

この2つのイベントの参加者やスタッフの昼食を、伊深ごはん研究会が調理しました。手打ちそばは、そば打ち名人井上美恵子さんが、お一人で次から次へとそばを打ち、湯がいて、氷水で締めたものを提供しました。

夏野菜のおかずは、地元で採れたナスの煮物、カボチャの煮物、キュウリのあっさり漬けです。

『昔の写真』持ち寄りの参加者には『昔の食体験』ということで、そばの代わりに、くさぎごと、とうがん汁を提供し、喜んでいただけました。



報告

伊深小学校3年生の「豆なかな運動」のお手伝いをしました！

6月27日(金)に伊深小学校3年生13人が、JA めぐみのが展開する「豆なかな運動」に協賛して大豆の豆蒔きを行い、当協議会メンバーがお手伝いをしました。

児童は、紙コップに豆を分けてもらい、一列に並んであらかじめ掘られた所に蒔き、上から土を丁寧にかぶせました。蒔いた後には、メンバーとの交流の時間があり、豆は昔から、お肉の代わりにタンパク質として重宝されてきたことや、栄養を吸収しやすいように工夫して加工食品ができたこと等をお話しました。秋には収穫をして、その豆から豆腐を作る授業が計画されており、楽しみです。



報告

運動会に向けて「えげん坊」を練習！！

7月15日(火)に、伊深小学校4・5・6年生が5時間目の授業時間に、西村朝子先生に教わりながら「えげん坊」の練習を行いました。学校運営協議会、保護者の皆さんの協力もあり、6年ぶりに運動会での披露が見込まれます。当協議会では8月の盆踊大会でも「伊深音頭」と共に「えげん坊」も大切に踊り伝えていきたいと願っており、児童が踊りの輪を盛り上げ、次へと繋いでくれることと期待しています。



報告

「伊深の里ポストカード写真展」投票結果発表！

ギャラリー伊深では、市川美幸さんが切り撮った伊深の風景から、お気に入りの3点を選ぶ投票を行いました。その結果、1位は、伊深の水田に映る夕焼けと子どもたちの風景。

2位は、牛牧の川浦川でホタルが乱舞する風景。
3位は、薄霧のかかる伊深の里山に白鷺がたたずむ風景となりました。

多数のご応募ありがとうございました。抽選の結果3名の方に「いぶカフェ」のドリンク券をお贈りします。尚、上位2作品についてはポストカード化を進める予定です。



今後の予定

8月に以下の事業を実施する予定で進める(一部協力する)ことにしました。

- ・7月に引き続き～8月26日まで 学童クッキング(全8回)(伊深ごはん研究会)
- ・8月4日、6日 「伊深音頭」の練習
- ・8月13日 伊深町盆踊り大会(実行委員会)

生活の中で、何かお困りごとはありませんか？

ごみだしなど、ちょっとしたことならお手伝いさせていただきます。遠慮なく、各地区の「(ちょっとたのむ輪)連絡員」または下記にご相談ください。
080-1561-4013



伊深まちづくり協議会だより 第136号

2025. 8. 1発行 (毎月1回1日発行)
発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典
事務局 美濃加茂市伊深町927-1
伊深交流センター内
電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001
※ ご意見・お問い合わせもこちらまで

